

特定健診へ行こう! ～年に1度の健康チェック!!～

羽曳野市国民健康保険では、40歳以上の方に1年に1回特定健康診査（特定健診）を実施しています。メタボリック症候群に着目した糖尿病や高血圧症などの生活習慣病の発症や重症化を予防するための健診です。第3回は慶應義塾大学 岡村 智教 先生にお話を伺いました。（9月号から3回にわたり健康情報を連載）

健診でわかることー 羽曳野市独自の検査項目「CRP」について

羽曳野市では、国が定めているもの以外に、いくつかの検査を独自に特定健診に追加しています。例えば炎症の指標であるCRPがそうです。炎症とは、有害な刺激を受けている時に体を守ろうとする免疫の働きで起こる現象です。傷口などが赤く腫れあがって熱感を伴うような場合が典型的な例ですが、症状がない軽い炎症が隠れていることもよくあります。CRPは昔から炎症の有無を調べる血液検査として使われていましたが、最近、測定法が進歩して軽微な上昇でも測れるようになりました。無症状でCRPが上昇する病気としては、初期のリウマチなどがありますが、動脈硬化が進んでいる場合でも高くなります。

羽曳野市の国保の特定健診を受けた方を対象に、CRPと腎臓の働きの低下（慢性腎臓病）との関連を見ました。2013年に健診を受けてその時点では腎臓が悪くなかった方4,344人を5年間追跡しました。当初のCRP値で、低値0.06未満、中値0.06～0.09未満、高値0.09以上（単位はmg/dl）の3グループに分けて慢性腎臓病の発症率を比べてみました。結果を図に示します。低値の発症率を1とした場合、中値は1.26倍、高値で1.33倍であり、中値や高値の場合だと低値に比べて、だいたい3割くらい慢性腎臓病になる可能性が高くなっていました。この傾向は男性でよりはっきりしています。

CRPが高い人は、肥満度が高めで血圧なども高い傾向があり、このような要因を調整すると発症率は図で示されたものよりも低く

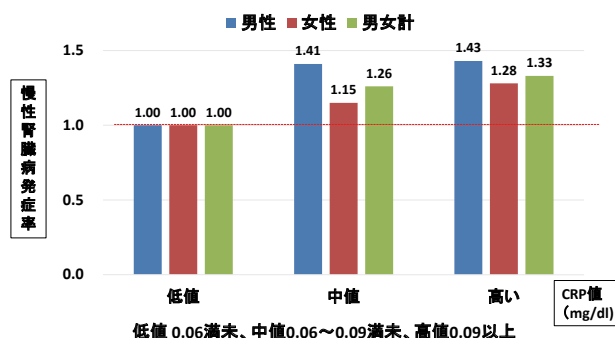


岡村 智教 医師

慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学

血中のCRPが高いと慢性腎臓病になりやすい

CRPが低値の新規の慢性腎臓病の発症率を1とした時の比較



注1) 2013年の特定健診で腎臓の検査に異常がなかった4,344人を5年間追跡し、慢性腎臓病の発症を調査した(新たに蛋白尿十以上またはeGFR<60mL/min/1.73m未満になった場合を発症とした)

注2) 年齢を統計学的に調整した発症率(男女計は性別も調整)

なります。また内臓脂肪の蓄積でCRPが高くなりやすいこともわかっているので、同じような肥満度でもCRPが高めの方は、よりいっそう減量を心がける必要があると考えられます。また極端に高いCRPは、何らかの感染症や膠原病などの不調が体に隠れているサインかもしれません。基準値を超えている場合は、迷わずかかりつけの先生に相談しましょう。

<問合せ> 保険年金課 保健事業担当

羽曳野からだ塾 皮膚がんについて知ろう ～早期発見・早期治療のために～ <定員150人、無料>

とき 12月6日(土) 14:00～16:00 (開場 13:30) 場所 大阪はびきの医療センター 3階 講堂 (はびきの 3-7-1)

講演1 「皮膚がんの種類と特徴」 14:00～14:40	皮膚科 主任部長 かたおか ようこ 片岡 葉子
講演2 「皮膚がんセルフチェックのポイント」 14:40～15:10	皮膚科 診療主任 きむら ゆうか 木村 優香
講演3 「皮膚がんの予防に役立つスキンケア」 15:20～15:50	皮膚・排泄ケア特定認定看護師 やまもと 山本 みふゆ

申込・問 12月5日(金)までに、電話または申込フォームにて

※手話通訳が必要な方は、申込時にその旨お伝えください。(手話通訳申込 11月21日(金)まで)

※駐車場無料 (駐車券を会場まで持参)

大阪はびきの医療センター 事務局 総務グループ ☎ 072-957-2121 (平日 9:30～17:00)

▶ 申込フォーム



市民公開講座 痛みに負けないココロとカラダのつくり方

とき 12月6日(土) 14:00～16:00 (受付 13:30～) 場所 LIC はびきの 音楽実習室

※無料、申込不要 問 運動器ケア しまだ病院 ☎ 072-953-1001